

Changing Ome: 2002-11
The environment surrounding us has changed enormously over the past decade. Among other things, the aging of the population combined with a low birthrate has advanced, awareness of environmental preservation has increased, and information technology has become widespread. In order to respond to these changing times, Ome has engaged in various efforts aimed at enhancing the lives of citizens. The city responds to the times flexibly, swiftly, and in a forward-looking manner. With top priority placed on the living environment of citizens, we intend to continue implementing the vision of "changing Ome."



平成14年3月、圏央道の一部が開通しました。延長されたのは、青梅ICから日の出ICまでの8.7kmの区間で、市外へのアクセスが向上しました。



H17 的場公園が完成

梅郷3丁目の市有地を活用して市内最初のワークショップによる手づくり公園ができました。「みんなで考え、みんなで作って、みんなで守って」を前提につくられた公園です。



H15 青梅赤塚不二夫会館

天才バカボンなど数々の人気ギャグマンガを生み出した、昭和を代表する漫画家・赤塚不二夫のすべてがわかるテーマ館です。赤塚ワールドに浸りながら、キャラクターグッズや原画などの展示を楽しめます。



H19 霞川調節池

平成7年より整備を進め、同19年に完成しました。市の東部を流れる霞川は、近年の市街化による流入雨量増大のため、大雨時の水害発生の心配がありました。霞川調節池は水害を予防し、流域の安全性を向上させています。



H18 地域包括支援センター

高齢者が住みなれた地域で自立した暮らしを安心して送れるよう、心身の健康や生活の安定を包括的に支えていくための拠点です。青梅市内に3か所設置されています。

時代に対して柔軟に、次代を見据えて迅速に。

平成14～23年

- 平成14年 2月 第7回全国梅サミットを青梅市で開催
- 3月 圏央道(青梅)日の出開通
- 4月 青梅市子育て支援センター開設
- 11月 第1回「癒しと安らぎの環境賞」で市立総合病院が「病院部門最優秀賞」受賞
- 平成15年 4月 子どもいきいき学校づくり事業スタート
- 平成16年 10月 青梅赤塚不二夫会館オープン
- 6月 はいかい高齢者家族支援サービス事業開始
- 10月 青梅市美しい風景を育む条例施行
- 11月 青梅子どもルールを発表
- 平成17年 1月 市内最初のワークショップによる的場公園完成
- 平成18年 7月 青梅市非核平和都市宣言制定
- 10月 子ども家庭支援センターを開設
- 4月 市内3か所に地域包括支援センター設置
- 6月 市内の商店街が経済産業省「がんばる商店街77選」で表彰
- 平成19年 1月 (財)古都保存財団による「美しい日本の歴史的風土100選」に御岳山・武蔵御嶽神社が選ばれる
- 3月 霞川調節池が完成
- 5月 東京都の「花粉の少ない森づくり運動」で、御岳の森林が「企業の森」第1号に指定される
- 6月 永山北部丘陵地を丘陵保全用地として市が取得
- 9月 青梅市メール配信サービス開始



H14 子育て支援センター

明るくて広いホール、幼児コーナー、図書コーナーなど、子どもたちが自由に遊べ、さまざまな体験や交流ができる場を提供し、子育てをサポートしています。

時代がかわれば、
青梅もかわります。
届けたいのは
新しい幸せのかたち。

この10年を振り返ると、少子高齢化や環境保全への意識の高まり、ITの普及など、私たちを取り巻く環境は大きく様子が変わってきました。市制施行60年という節目を迎えた青梅市は、時代の変化に対応すべく、さらなる市民生活の向上を目指してさまざまな取り組みを行ってきました。平成14年の圏央道青梅ICの日の出IC開通、同年の子育て支援センター開設、同17年の非核平和都市宣言の制定、年々盛り上がりを増す青梅マラソン。また、温暖化対策やクリーン施策、業務の電子化なども広く推し進めてきました。時代に対して柔軟に、次代を見据えて迅速に。いつも市民の生活環境を最優先に、「かわりゆく青梅」でありたいと考えています。

Changing Ome: 2002-11
Believing that individual citizens are the principal actors, Ome continues to change with the aim of realizing “an evolving city, a developing city.”



H20 河辺駅北口整備事業終了

市内で最も乗降客が多いJR青梅線・河辺駅。活気と魅力にあふれた中心市街地づくりや地域活性化を目的に同駅北口の整備事業を進め、平成20年3月に河辺駅北口整備事業が竣工しました。



第二小学校校舎の老朽化に伴い、市では校舎改築事業を進めています。平成20年度は基本設計を行い、同22～25年度に建設工事を計画。安全で多機能環境へ配慮した施設に生まれ変わります。

H20 第二小学校改築工事



H22 市役所新庁舎完成

新庁舎は平成20年3月に着工し、同22年5月末に竣工しました。市民サービスの向上を図るとともに、高度情報化、防災拠点としての機能を備えています。同22年7月に、新庁舎で業務を開始しました。

進化するまち。発展するまち。それが青梅。



- | | | | |
|--|--|--------------------------------|-----------------------------------|
| 平成23年 | 平成22年 | 平成21年 | 平成20年 |
| 4月 障がい者サポートセンター開所 | 1月 青梅市ポイ捨ておよび飼い犬のふんの放置の防止ならびに路上喫煙の制限に関する条例施行 | 4月 成木小学校で小規模特別認定校制度開始 | 1月 河辺駅北口歩行者用デッキ完成(愛称名は「河辺びっくぶらむ」) |
| 1月 携帯電話サイト青梅ポケットガイド開始 | 10月 男女平等情報紙「よつば」創刊 | 3月 永山丘陵(特別緑地保全地区)の名称が「青梅の森」に決定 | 2月 子育て支援センターの愛称名が「はぐはぐ」に決定 |
| 5月 市役所新庁舎完成 | 8月 飯能市と有害鳥獣合同捕獲に関する協定を締結 | 8月 杉並区と交流協定を締結 | 3月 河辺駅北口に新しく中央図書館が開館 |
| 7月 青梅駅・東青梅駅・河辺駅周辺道路を路上喫煙禁止地区、美化推進重点地区に指定 | 5月 飯能市と有害鳥獣合同捕獲に関する協定を締結 | 3月 河辺駅北口整備事業が竣工 | 3月 第二小学校改築事業が始まる |

市民ひとりひとりが主役、
その思いをベースに
青梅はかわりつつけて
きました。

青梅の森



H23 障がい者サポートセンター

平成23年4月に市が設置し、NPO法人青梅市障害者団体連合会が管理運営。障害者に対する相談支援事業、地域活動支援センター事業、生活支援事業等を行っています。



H20 こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭へ民生児童委員が訪問し、子育てに関する情報や読み聞かせの絵本を提供しています。

昭和26～52年

かわりゆく青梅



市民の声に耳を傾け、さらに住みやすいまちへ。



s30 川合玉堂氏、名誉市民となる



s29 第1回市営モーターボート競走



s36 新庁舎(旧庁舎)完成式典



s32 市立総合病院開院



s39 オリンピック東京大会聖火



s37 小作駅～東青梅駅間複線化



s46 根ヶ布に給食センターオープン



s40 ポップルト市と姉妹都市提携

- | | | |
|-------|-----|-------------------------------------|
| 昭和26年 | 4月 | 市制施行青梅町・調布村・霞村が合併
全国で262番目、都で5番目 |
| 昭和27年 | 5月 | 初の市議会開会 |
| 昭和27年 | 10月 | 青梅市福祉事務所開設 |
| 昭和27年 | 5月 | 青梅市消防団発足 |
| 昭和29年 | 8月 | 教育委員会発足 |
| 昭和29年 | 6月 | 第1回市営モーターボート競走実施 |
| 昭和30年 | 7月 | 警視庁青梅警察署発足 |
| 昭和30年 | 4月 | 吉野三田・小曾木成木の4村を合併 |
| 昭和32年 | 11月 | 川合玉堂氏、初の名誉市民となる |
| 昭和32年 | 2月 | 青梅電報電話局完成、自動電話開通 |
| 昭和33年 | 11月 | 市立総合病院開院 |
| 昭和33年 | 4月 | 世界連邦平和都市宣言 |
| 昭和36年 | 11月 | 市役所新庁舎(旧庁舎)落成 |
| 昭和37年 | 5月 | 小作駅～東青梅駅間複線化、
東青梅～青梅間単線自動化開通 |
| 昭和39年 | 9月 | 吉川英治氏、名誉市民となる |
| 昭和40年 | 10月 | オリンピック東京大会、聖火青梅を走る |
| 昭和40年 | 3月 | 新火葬場が長淵(二ツ塚)に完成 |
| 昭和41年 | 9月 | 西ドイツ現ドイツ・ポツパルト市と姉妹都市提携 |
| 昭和41年 | 10月 | 市民会館完成 |
| 昭和42年 | 11月 | 市の鳥(うぐいす)制定 |
| 昭和42年 | 7月 | 市営金の淵公園プールオープン |
| 昭和43年 | 1月 | ダストボックスによるごみ収集開始 |
| 昭和44年 | 5月 | 市営墓地公園が長淵(二ツ塚)に完成 |
| 昭和44年 | 6月 | 市内で休日診療を開始 |
| 昭和45年 | 7月 | 河辺に市民球技場オープン |
| 昭和46年 | 9月 | 根ヶ布に給食センター完成 |
| 昭和46年 | 11月 | 福祉センター・教育センター開館 |
| 昭和47年 | 7月 | 都市計画公園「わかぐさ公園」完成 |
| 昭和48年 | 1月 | 公共下水道第1期工事着工 |
| 昭和49年 | 5月 | 郷土博物館開館 |
| 昭和51年 | 11月 | 市民憲章、市の花(うめ)、市の木(すぎ)制定 |
| 昭和52年 | 4月 | 水道事業、都営水道に一元化される |

昭和53～平成13年

かわりゆく青梅



s57 三ツ原工業団地完成



s53 東原公園プールオープン



s62 中央図書館オープン



s59 市立美術館オープン



H8 圏央道(青梅～鶴ヶ島)開通



H3 花木園に211mのすべり台完成



H6 第1回多摩川1万人の美化活動(清掃大会)

時代と共に成長期へ。近代化してゆく青梅。

昭和53年	5月	公共下水道供用開始
昭和54年	7月	東原公園プールオープン
昭和55年	7月	風の子・太陽の子広場開場
昭和56年	2月	市立総合病院救急医療センター開始
昭和57年	10月	市総合体育館完成
昭和58年	10月	交通公園完成
昭和59年	3月	三ツ原工業団地完成
昭和60年	9月	西多摩地域広域行政圏協議会発足
昭和61年	10月	リサイクルセンター完成
昭和62年	10月	市立美術館オープン
昭和63年	4月	御岳渓流・環境省から名水百選に選定
昭和64年	4月	花木園・健康センターオープン
昭和65年	5月	青梅消防署に山岳救助隊発足
昭和66年	5月	通所授産施設、自立センターオープン
昭和67年	10月	中央図書館(現青梅市民センター)オープン
昭和68年	12月	JR青梅線に青梅特快登場
昭和69年	4月	花木園に211mのすべり台完成
昭和70年	7月	わかぐさ公園こどもプールオープン
昭和71年	8月	友田レクリエーション広場オープン
昭和72年	12月	発泡スチロール製トレーとペットボトルの資源回収開始
昭和73年	10月	粗大ごみ・戸別有料収集へ
昭和74年	10月	リサイクルショップオープン
昭和75年	6月	沢井保健福祉センター開設
昭和76年	8月	第1回多摩川1万人の美化活動を実施
昭和77年	9月	青梅市在宅介護支援センター開設
昭和78年	8月	小曾木保健福祉センター開設
昭和79年	10月	青梅スタジアムオープン
昭和80年	3月	圏央道(青梅～鶴ヶ島)開通
昭和81年	6月	市立総合病院救急センターオープン
昭和82年	4月	上成木・北小曾木ふれあいセンターオープン
昭和83年	7月	市民斎場が長淵(二ツ塚)に開設
昭和84年	10月	ごみの戸別収集と有料化開始
昭和85年	2月	青梅ワイン「ポツバルトの雫」販売開始
昭和86年	3月	宮城県大郷町に場外舟券売り場、ボートピア大郷開設